

成長力強化のための基幹的物流ネットワークの整備

計画概要

◆計画期間

平成29年度～令和3年度(5年間)

◆計画の目標

港湾、IC及び工業団地の造成等の民間投資と連携してアクセス道路を整備することにより、物流の信頼性・効率性を高め、日本経済を牽引するモノづくり愛知の産業基盤の強化を図り、成長による富の創出につながる交通基盤を構築することを目標とする。

◆計画の成果目標(定量的指標)

○IC等から拠点施設等(港湾・工業団地等)までのアクセスに要する時間の短縮

・IC等から拠点施設等へのアクセス時間の短縮割合を求める。

(評価時点のアクセス時間－整備前アクセス時間)／整備前のアクセス時間 (整備計画期間内に完了する事業のみ)

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費	事業の実施状況	進捗率※
A 基幹事業(道路事業)	24,847百万円	・一般国道419号(刈谷高浜拡幅)を始め9箇所の事業箇所において約14kmを供用。主に用地交渉の難航により進捗率が計画をやや下回った。	92%
B 関連社会資本整備事業	-	-	-%
C 効果促進事業	-	-	-%
合 計	24,847百万円		

※事業費は実績値

※進捗率(%)について、計画期間内で供用を予定した計画延長に対する実績供用延長の割合

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・一般国道419号(刈谷高浜拡幅)を始め9箇所の事業箇所において約14kmが供用したことで、拠点間のアクセス性が強化された。(別紙1)

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標(IC等から拠点施設等(港湾・工業団地等)までのアクセスに要する時間の短縮((評価時点のアクセス時間－整備前アクセス時間)／整備前のアクセス時間)

最終目標値	8%	目標値と実績値に差が出た要因	目標通り事業完了することができた。
最終実績値	8%		

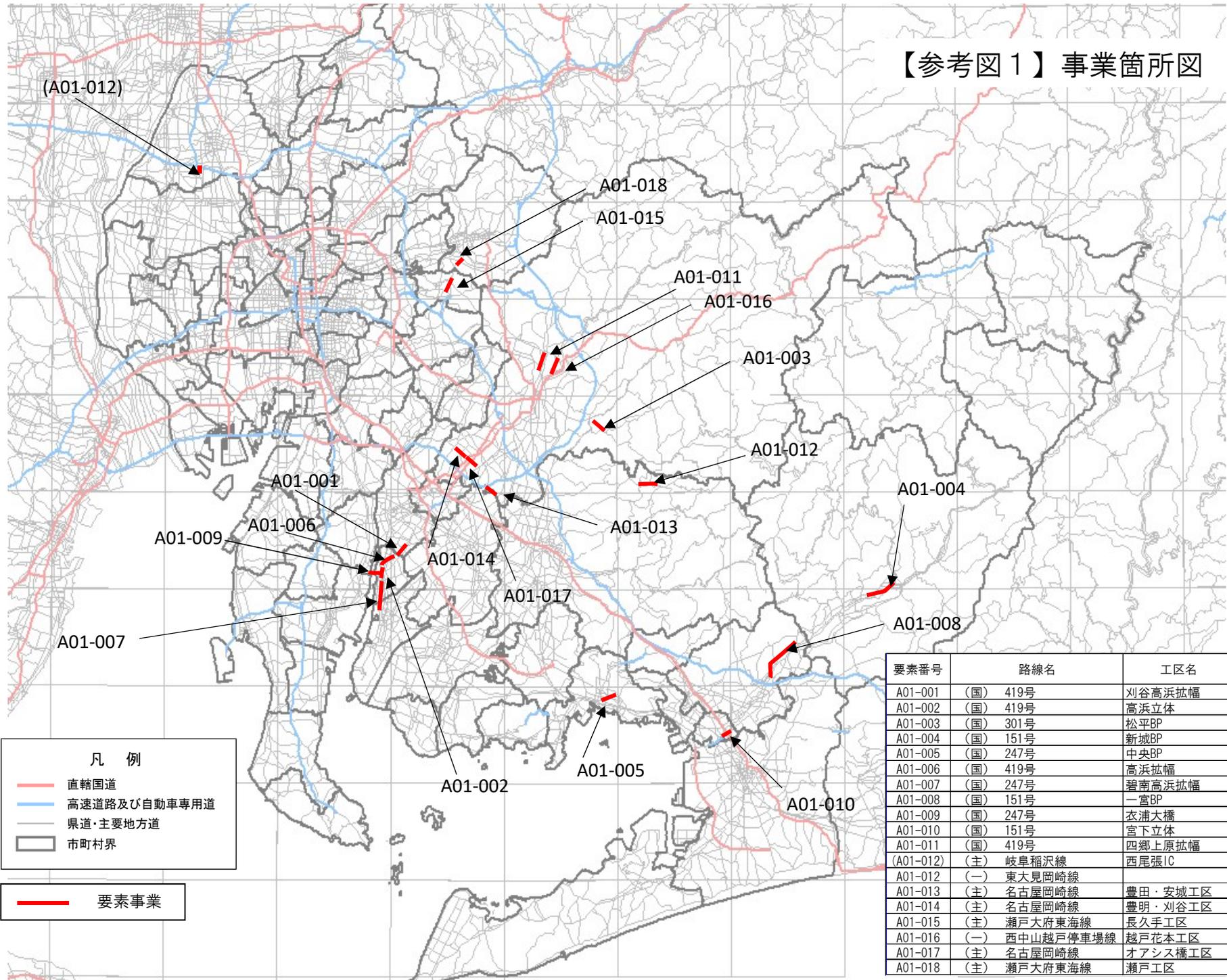
◆今後の方針

・港湾、IC及び工業団地の造成等の民間投資と連携してアクセス道路を整備することにより、物流の信頼性・効率性を高め、日本経済を牽引するモノづくり愛知の産業基盤の強化を図り、成長による富の創出につながる交通基盤を構築するため、令和4年度からの新規計画「成長力強化のための基幹的物流ネットワークの整備」に基づき、早期整備完了を目指し、引き続き事業を推進する。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	計画策定主体である愛知県道路建設課において評価を実施し、その結果を学識経験者((公財)愛知県都市整備協会技術アドバイザー制度を利用)へ報告し、参考意見を聴取する。
事後評価の実施時期	令和5年12月
公表の方法	WEBページ掲載 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/dourokensetsu/syashihonkeikaku.html)

【参考図1】事業箇所図



【基幹事業】

- 事業名 一般国道247号（中央バイパス）
- 事業区間 蒲郡市竹谷町がまごおり たけのやちよう～蒲郡市三谷町がまごおり みやちよう
- 事業概要 L=1.5km 3種2級 W=24m（暫定2車線整備）
- 事業のあらまし

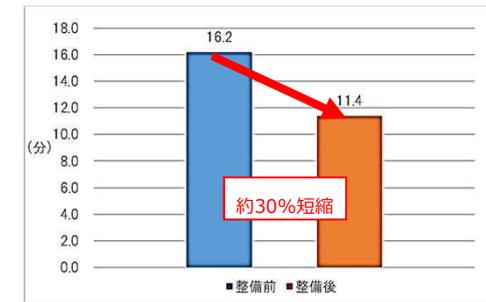
本事業は、国道23号蒲郡ICと自動車産業を中心とした「ものづくり」を支える重要港湾三河港とのアクセス強化を図るとともに、市街部における通過交通と域内交通の輻輳による交通渋滞の緩和を目的としたバイパス事業である。これにより、産業基盤の強化や市街地の渋滞解消が期待される。

■事業効果

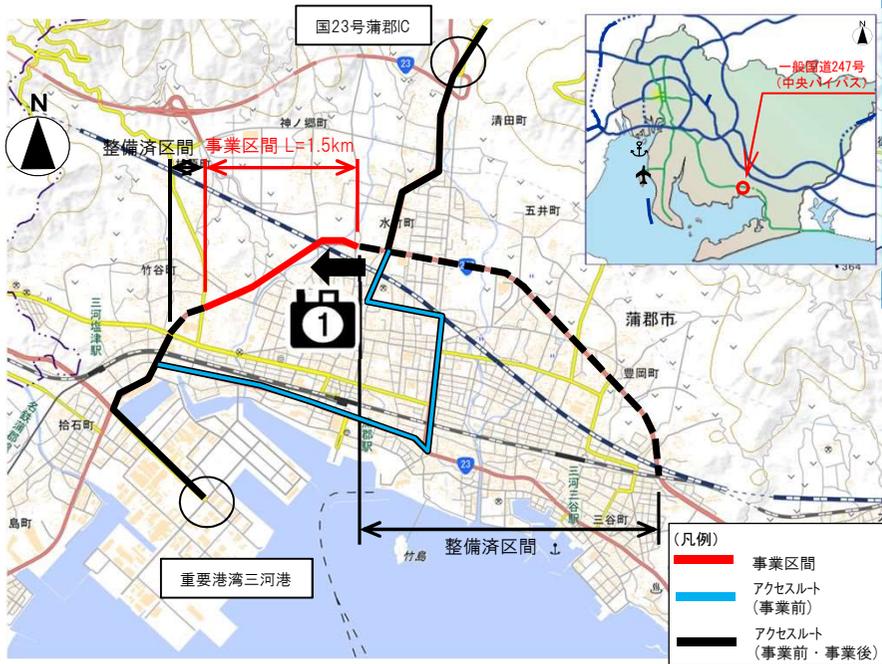
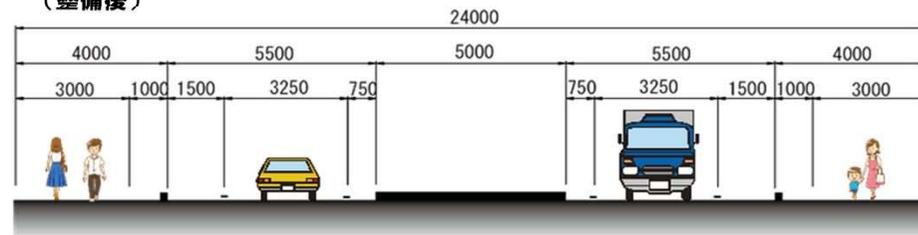
事業区間の整備によりバイパスが開通し、拠点間のアクセス性が向上した。

■発現効果

●2車線バイパス道路の整備
拠点間のアクセス性向上
(所要時間約30%短縮)



標準横断面図 (整備後)



整備前の状況



整備後の状況



【基幹事業】

■事業名

かりやたかはま たかはまりつたい
一般国道419号（刈谷高浜拡幅、高浜立体）

■事業区間

かりや おがきえ たかはま しんめいちよう
刈谷高浜拡幅：刈谷市小垣江～高浜市神明町
たかはま よしかわちよう たかはま あおみちよう
高浜立体：高浜市芳川町～高浜市碧海町

■事業概要

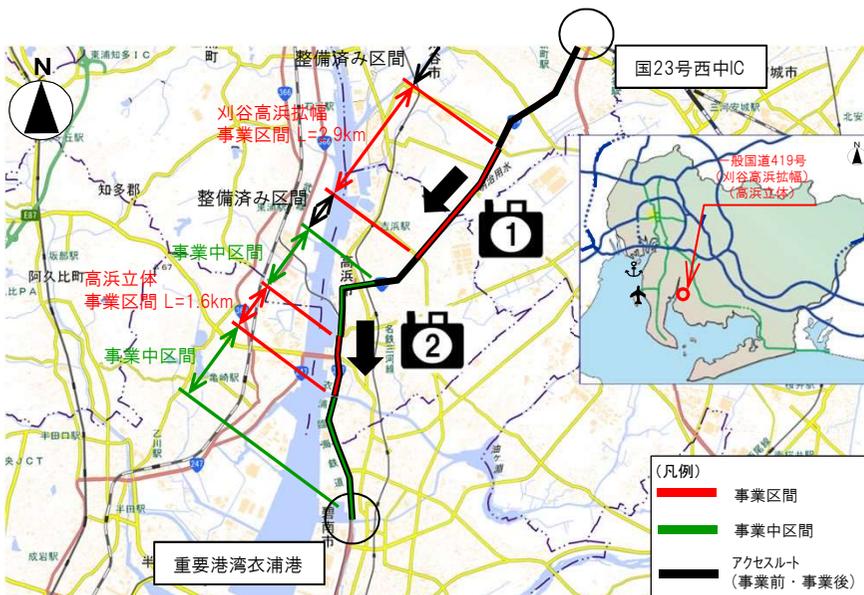
刈谷高浜拡幅：L=2.9km 3種1級 W=30～45m（4車線整備）
高浜立体：L=1.6km 3種1級 W=29.5m（暫定2車線整備）

■事業のあらまし

本事業は、重要港湾衣浦港と内陸工業地域のアクセス強化を図るとともに、交通集中による渋滞の緩和を目的とした事業である。これにより、地域の経済活動を支え国際競争力の強化に資する基盤を構築することが期待される。

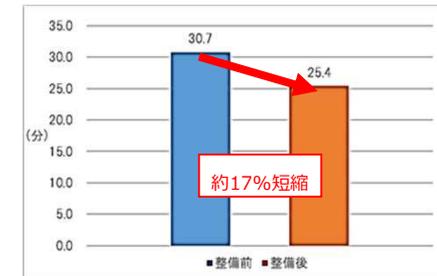
■事業効果

事業区間の整備により、拠点間のアクセス性が向上した。



■発現効果

●2車線バイパス道路の整備
 拠点間のアクセス性向上
 (所要時間約17%短縮)

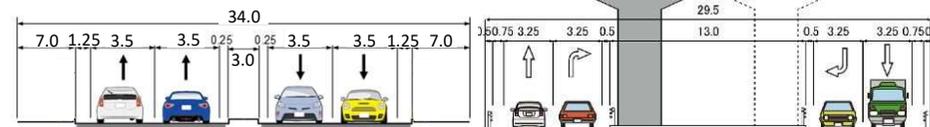


(高浜立体)

単位:m

標準横断面図 (整備後)

(刈谷高浜拡幅)



整備前の状況

整備後の状況



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年12月06日

計画の名称	成長力強化のための基幹的物流ネットワークの整備												
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)							重点配分対象の該当	○				
交付対象	愛知県												
計画の目標	港湾、IC及び工業団地の造成等の民間投資と連携してアクセス道路を整備することにより、物流の信頼性・効率性を高め、日本経済を牽引するモノづくり愛知の産業基盤の強化を図り、成長による富の創出につながる交通基盤を構築することを目標とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	23,661	A	23,661	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(H33末)
1	IC等から拠点施設(港湾・工業団地等)までのアクセスに要する時間の短縮 IC等から拠点施設等へのアクセス時間の短縮割合を求める。 (評価時点のアクセス時間-整備前アクセス時間)/整備前アクセス時間	0%	%	8%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	—	避難行動要支援者名簿の提供
衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業:(国)419号(刈谷高浜拡幅)・(国)419号(高浜立体)・(国)419号(高浜拡幅)・(国)247(碧南高浜拡幅)・(国)247号(衣浦大橋)刈谷市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業:(主)名古屋岡崎線 豊明・刈谷工区															

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)419号(刈谷高浜拡幅)	現道拡幅 L=2.9km	高浜市	■	■				650		—	
	A01-002	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)419号(高浜立体)	現道拡幅 L=1.6km	高浜市	■	■				750		—	
	A01-003	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)301号(松平バイパス)	ハイス L=3.1km	豊田市	■	■	■	■	■	6,200		—	
	A01-004	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)151号(新城バイパス)	ハイス L=8.7km	新城市	■	■	■			1,429		—	
※別パッケージへ移行																				
A01-005	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)247号(中央バイパス)	ハイス L=5.7km	蒲郡市	■	■				310		—		
A01-006	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)419号(高浜拡幅)	現道拡幅 L=1.6km	高浜市	■					0	5.2	—		
	※別パッケージへ移行																			
A01-007	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)247号(碧南高浜拡幅)	現道拡幅 L=2.7km	碧南市	■					0	14.4	—		
	※別パッケージへ移行																			

A 基幹事業																												
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況									
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03												
一体的に実施することにより期待される効果																												
備考																												
道路事業	A01-008	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)151号 (一宮バイパス)	ハイパス L=7.9km	豊川市 新城市	■					832		—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-009	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)247号 (衣浦大橋)	現道拡幅 L=0.7km	半田市 高浜市	■					1,020		—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-010	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)151号 (宮下立体)	ハイパス L=1.3km	豊川市	■					50	1.6	—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-011	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国)419号 (四郷上原拡幅)	現道拡幅 L=1.3km	豊田市	■	■	■	■	■	2,000		—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-012	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一)東大見岡崎線	現道拡幅 L=1.2km	岡崎市	■	■				1,070		—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-013	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主)名古屋岡崎線 豊田 ・安城工区	ハイパス L=2.4km	豊田市 安城市	■	■	■			1,200		—									
		※別パッケージへ移行																										
	A01-014	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主)名古屋岡崎線 豊明 ・刈谷工区	ハイパス L=1.1km	豊明市 刈谷市	■	■	■	■	■	3,300		—									
		※別パッケージへ移行																										

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-015	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主)瀬戸大府東海線 長 久手工区	ハイパス L=2.3km	長久手市	■	■	■	■	■	1,500		—	
	A01-016	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一)西中山越戸停車場線 越戸花本工区	ハイパス L=1.1km	豊田市	■	■	■			2,200		—	
		P1へ移行																		
A01-017	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主)名古屋岡崎 オア シス橋工区	現道拡幅 L=1.0km	刈谷市					■	950		—		
A01-018	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主)瀬戸大府東海線 瀬戸工区	現道拡幅 L=0.1km	瀬戸市					■	200		—		
											小計					23,661				
											合計					23,661				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である愛知県道路建設課において評価を実施し、その結果を学識経験者（(公財)愛知県都市整備協会技術アドバイザー制度を利用）へ報告し、参考意見を聴取する。	令和5年12月
	公表の方法 愛知県ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	一般国道419号（刈谷高浜拡幅）を始め9箇所の事業箇所において約14kmが供用したことで、拠点間のアクセス性が強化された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

【今後の方針】
 港湾、IC及び工業団地の造成等の民間投資と連携してアクセス道路を整備することにより、物流の信頼性・効率性を高め、日本経済を牽引するモノづくり愛知の産業基盤の強化を図り、成長による富の創出につながる交通基盤を構築するため、令和4年度からの新規計画「成長力強化のための基幹的物流ネットワークの整備」に基づき、早期整備完了を目指し、引き続き事業を推進する。

【学識経験者等の第三者の意見聴取結果】
 今後の方針を了承する。
 目標値を達成できたことは評価できる。愛知県は日本を牽引する産業の豊かな県であるので、後続の整備計画を活用し、引き続き交通基盤の強化を図っていただきたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	8%
	最終実績値	8%
		IC等から拠点施設等（港湾・工業団地等）までのアクセスに要する時間の短縮（（評価時点のアクセス時間－整備前アクセス時間）／整備前のアクセス時間） 目標通り事業完了することができた。